

(特非) サンクチュアリエヌピーオー

遠州灘浜松海岸に建設する巨大防潮堤工事の環境影響調査

イベントの延べ参加者数	12,000人
活動に対する問合せ件数	1,200件
活動の全体目標に対する達成度	75%



ウミガメ保護啓発活動

◆成果と工夫したポイント

- 成果** ウミガメの繁殖調査は5～10月まで毎日実施し、貴重な繁殖データを得た。環境調査では、10ヶ月の海岸パトロールで記録を取った。観察会は113回、砂浜回復事業で8回、総勢12,000人の参加者を得た。
- 工夫** 生物多様性の低下が危ぶまれていることを広く伝えるために、市民参加の出来る事業を開催するように努めた。

課題

遠州灘浜松海岸に建設する巨大防潮堤工事の環境影響調査を行い、気象や地形の変化による野生動植物の生息環境に影響を及ぼさないように、調査データをもとに提言をする。

活動内容

1年目は、巨大防潮堤工事前、工事中の気象や環境変化のデータを出来るだけ集めるために、気象観測を行った。野生生物調査では、5月～10月はアカウミガメの繁殖調査を実施、5月～8月はコアジサシの繁殖調査を行った。また、こうした調査を一般公開で行い、海浜植物やアカウミガメなどの観察会を実施して、保護啓発事業とした。浸食の激しいところでは、砂浜の回復事業やビーチクリーンアップも行った。



13.5メートルの堤防ができてはじめる

今後の課題

堤防工事期間の延長による調査期間の延長への対応や大規模工事の海岸パトロールの人手の確保が望まれる。そのため、適切な人員の配置や工事主体者の県と協議で工事の進捗状況を把握して対応をしていく。